

# 第3次大阪府子ども読書活動推進計画の総括（案）

資料 6

R2.8.28

1～6は、第3次読書計画の成果指標等の達成状況等

7～11は、第3次計画の分析

## 1. 基本方針

発達段階や生活の場に応じて本と親しむことにより、全ての子どもが読書の楽しさと大切さを知り、自主的に読書活動を行うことができる環境整備に大阪全体で取り組みます。

## 2. 成果指標

「読書が好き」な子どもの割合を全国平均以上とする。（令和2年度）

結果 **未達成（※推測）** ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全国学力・学習状況調査が中止となったため

## 3. 4つの項目

子ども読書活動を推進するための具体的な取組みを以下の4つの項目に沿って実施

- ① 子どもが本と出会うために（きっかけづくり）
- ② 子どもが本と親しむために（本を読むことの習慣化）
- ③ 子どもが目的に応じて読む力をつけ、本から学ぶために（読む力、考える力の育成）
- ④ 子どもの読書環境づくりを支える人と体制をつくるために（前記3項目の取組みのベース）

## 4. 3つの視点

第2次計画期間の5つの課題を踏まえ、取組を進めるにあたって、重視した3つの視点

視点① 家庭、学校、地域、街なかで、乳幼児や児童への読み聞かせの機会の拡大  
（課題②を踏まえ）

視点② 読書離れが進む中高生が、読みたいと思う魅力的な本と出会う機会の拡大  
（課題①を踏まえ）

視点③ 子どもの読書活動に関わる人材の確保及びスキル向上並びに支援人材同士で、相談・協力・連携できるネットワークづくり（課題③④⑤を踏まえ）

第3次計画策定時に第2次計画期間の課題と捉え、取組みを行った5つのこと

### 〈子どもの読書活動に関する直接的な課題〉

課題① 読書が好きなお子どもの割合や不読率など全国平均に達しておらず、特に中高生の読書離れが顕著

取組結果→読書好き：改善せず、不読率：⓪やや改善 ⊕改善せず ⊙やや改善

### 〈生活の場ごとの取組みの課題〉

課題② 読み聞かせを実施してもらっていない子どもが就学前で15%、小学校低学年で50%いる 取組結果→やや改善

課題③ 読書ボランティアと学校の連携割合が、公立中学校で約5割、公立高等学校で2割以下であり、学校によって連携による取組内容に大きな差がある 取組結果→連携割合：改善せず 連携内容：改善せず

課題④ 公立図書館と学校の連携割合が、公立中学校で約5割、公立高等学校で約3割である 取組結果→改善

課題⑤ 市町村における子ども読書活動推進にかかる庁内連絡会の設置状況が42%と低い 取組結果→やや改善

## 5. 9つの取組みの指標

「府が主体となって進める41の取組み」の進捗を図るための9つの取組みの指標

9つの取組みの指標		実施主体	H26	R1	目標値	達成状況
①	保護者に対して絵本の読み聞かせの講座、おすすめ絵本のリストの作成・配布などの取組みをしている教育・保育施設の割合	公立幼稚園等	95%	95%	100%	未達成
		公立保育所等	96%	84%	100%	未達成
②	中高生向けに子ども読書活動の支援（中高生向けの専用コーナーの設置・お勧め本リストの作成、オリオバトルの実施など）を行っている公立図書館の割合	公立図書館	68%	87%	85%	達成
③	府が実施する読み聞かせの重要性・手法に関する研修や講座の実施回数	大阪府	3回	(5年平均) 16.2回	(5年平均) 10回	(5年平均) 達成
④	月に数回以上全校一斉の読書活動を実施している公立学校の割合	公立小学校	91%	89%	100%	未達成
		公立中学校	61%	68%	80%	未達成
⑤	全校一斉の読書活動以外の取組み（ブックトーク・読み聞かせ等）を実施している公立学校の割合	公立小学校	97%	100%	100%	達成
		公立中学校	64%	97%	80%	達成
		公立高等学校	50%	57%	60%	未達成
		支援学校等	68%	76%	75%	達成
⑥	国語の授業で学校図書館を活用している公立学校の割合	公立小学校	99%	97%	100%	未達成
		公立中学校	82%	93%	100%	未達成
		公立高等学校	47%	60%	60%	達成
		支援学校等	59%	83%	75%	達成
⑦	総合的な学習の授業で学校図書館を活用している公立学校の割合	公立小学校	97%	96%	100%	未達成
		公立中学校	76%	87%	90%	未達成
		公立高等学校	28%	28%	35%	未達成
		支援学校等	49%	63%	75%	未達成
⑧	府内市町村子ども読書活動推進計画の策定率（期限切れを含まない）	市	64%	82%	100%	未達成
		町村	20%	40%	70%	未達成
⑨	府が実施する子ども読書活動推進に関わる人を対象とする講座等の実施回数	大阪府	28回	(5年平均) 47回	(5年平均) 35回	(5年平均) 達成

目標値を達成した取組みの指標：②、③、⑨

目標値の一部を達成した取組みの指標：⑤、⑥

目標値を達成しなかった取組みの指標：①、④、⑦、⑧

目標値は達成しなかったが、割合が改善した取組みの指標

④、⑤、⑥、⑦、⑧

6. 府が主体となって進める 41 の取組の実施状況について

「1. 基本方針」「2. 成果指標」「3. 4つの項目」「4. 3つの視点」を踏まえた 41 の取組み

府が主体となって進める 41 の取組み		令和元年度（平成 31 年度）の具体的な取組み内容
き っ か け つ く り	1 リーフレットや冊子、ウェブサイトや SNS を通じて子ども向けのおすすめ本の情報提供を行います。また、リーフレットや冊子について、子どもや保護者が訪れる図書館以外の場所でも入手できるような工夫を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆『親と子が楽しむはじめての絵本』2019 年改訂の検討及び配架</li> <li>◆「ほんだな 2019」および「ヤングアダルト YA！YA！YA！」等の発行</li> <li>◆小学校保護者向け読書活動案内資料の作成・配付</li> <li>◆大阪府 twitter での中高生向けおすすめ本の紹介の実施</li> </ul>
	2 公立図書館司書・学校司書、司書教諭等の教職員・ボランティア等を対象に、1 年間に出版された「新刊紹介」の講座を実施します。	◆2018 年に出版された子どもの本を紹介する講座の実施
	3 中高生におすすめの本を紹介する取組みを民間と連携しながら進めます。	◆ティーンズアスリートプレスによるおすすめの本の紹介を実施
	4 就学前読書活動フォーラムにおいて、公立図書館や教育・保育施設等で実施されている就学前の子どもの保護者への啓発の取組みについて、情報提供をします。	◆子育て支援関係者向け講習会の開催において、参加者へ情報提供の実施
	5 幼稚園教諭や小学校教員、読書活動ボランティア等に対し、読み聞かせの手法に関する研修を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高石・忠岡小学校教育研究会図書館部会研修会への講師派遣</li> <li>◆東大阪市図書館教育担当者等研修への講師派遣</li> <li>◆保育技術専門研修（聴覚、視覚支援学校幼稚部・幼稚園・保育所・認定こども園教員対象）の実施</li> <li>◆小学校読書活動推進研修（小学校、義務教育学校、支援学校小学部教員対象）の実施</li> <li>◆読書活動推進及び学校図書館活用の出前講座の実施</li> </ul>
	6 保護者に対し、読み聞かせの重要性に関する啓発や、乳幼児向けのおすすめ本の紹介、親子で読み聞かせを体験する場の提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆えほんのひろばの開催（商業施設等）</li> <li>◆『親と子が楽しむはじめての絵本』の配布</li> <li>◆おはなし会プログラムを図書館ホームページに掲載</li> <li>◆乳幼児向けおはなし会「親と子のひろば たんぼぼ」の開催</li> <li>◆おはなし会の開催</li> </ul>
	7 PTA、子ども会や子育て支援にかかる民間団体、民間企業等に対して、世代間交流や子育て支援の一環として、読み聞かせ、おはなし会やえほんのひろばの開催等に取り組んでもらえるよう働きかけます。また、公立図書館や民間団体等が実施するえほんのひろばのための図書セットをつくれます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特別貸出用図書セット（読書活動支援セット）の設置・貸出</li> <li>◆えほんのひろば貸出しセットの設置・貸出</li> </ul>
	8 市町村に対し、保健センターや教育・保育施設、学校、公民館等を活用した読み聞かせが普及するよう、好事例や、交付金・助成金の活用例等の情報を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市町村子ども読書活動推進担当者会議等での好事例の紹介</li> <li>◆新子育て交付金優先配分枠事業モデルメニュー「絵本で育む子どもとのふれあい事業」の紹介</li> </ul>
	9 定期的な読み聞かせ等を行っている団体の活動等にかかる情報を収集・整理・分析し、提供します。	◆読書活動ボランティアの府内の活動情報の更新及び府 H P での紹介の継続
	10 ビブリオバトル（書評合戦）等に関する学校教職員や公立図書館司書向け研修の実施や 大阪府中高生ビブリオバトル大会の開催により、学校や公立図書館等におけるビブリオバトル（書評合戦）の普及に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ビブリオバトル研修の実施</li> <li>◆大阪府中高生ビブリオバトル大会の開催</li> <li>◆ビブリオバトル出前講座の実施</li> </ul>
	11 中高生をメインターゲットに図書館の使い方等を紹介したウェブサイト「YA!YA!YA!べんりやん図書館」を充実します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆職員の日記帳の掲載回数増と twitter との連動による更新 PR</li> <li>◆既存コンテンツの更新</li> </ul>
	12 図書館を知ってもらい、来てもらうことを目的としたイベントを開催します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆スクールサービスデーの継続実施</li> <li>◆学校等の長期休暇に合わせて「おたのしみ会」等のイベントを実施</li> <li>◆こども向け絵本の読み聞かせイベントの実施</li> <li>◆「見て、聴いて、さわって楽しむ読書の世界」実施</li> <li>◆学校等からの見学・体験学習の受入</li> </ul>
番外 作家が小学校等を訪問して、子どもに対して読み聞かせやワークショップを行うオーサービジット事業を実施します。	◆オーサービジット事業の実施	

府が主体となって進める 41 の取組み		令和元年度（平成 31 年度）の具体的な取組み内容	
習 慣 化	13	府立図書館において、学校図書館のニーズにあわせた学校支援サービスを展開します。特に府立学校への学校支援を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「高校生のための図書館講座 LibCo(りぶこ)」の実施</li> <li>◆特別貸出用図書セットの充実</li> <li>◆府立高等学校図書館への協力貸出の実施（試行実施）</li> <li>◆府立高等学校での大阪府立図書館「出前講習」の実施</li> </ul>
	14	学校図書館の蔵書を補完し、子どもが興味を持つ本をタイムリーに提供できるよう、府立図書館と、市町村図書館を経由した学校図書館との連携の強化に向けた検討を行います。	◆府立高等学校図書館への協力貸出の実施（試行実施）
	15	市町村立図書館の機能を補完するため、府立図書館の協力車を活用し、協力貸出しを行います。	◆府内を 9 コースに分け、毎週搬送を実施
	16	全ての府立高等学校において、生徒が学校図書館を活用できる時間の確保に努め、特に、昼間の学校においては、昼休みと放課後に学校図書館を開館します。	◆「府立学校に対する指示事項」に基づき、昼休みと放課後に学校図書館を開館（全日制）
	17	府立図書館が実施する団体貸出しについて、学校、教育・保育施設等での利用が促進されるよう、内容の充実や広報に一層努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特別貸出用図書セットの充実と府立中央図書館 HP「学校支援サービス」の更新</li> <li>◆市町村教育委員会を通じて、大阪府立中央図書館学校支援サービスについての案内の送付</li> </ul>
	18	読書指導や学校図書館運営の先進的な取組み事例、学校図書館の環境づくりについて、学校教職員等に対し情報提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆読書活動支援の出前講座の実施</li> <li>◆子ども読書活動推進フォーラムの実施</li> </ul>
	19	府内の小中学校において「朝ごはん・朝のあいさつ・朝の読書」を推進する「3つの朝運動」に取り組みます。	◆市町村子ども読書活動推進担当者会議、市町村個別訪問等で、市町村に対して朝読等の一斉読書活動の実施の要請
	20	中高生（YA 世代）に対する読書活動推進の好事例を収集し、市町村立図書館に情報発信します。	◆各図書館の取組みを収集し、研修等で共有
	21	本の P O P づくりコンクールを実施します。	◆第 12 回 あなたのおすすめ本の POP 広場の開催
	22	子ども向けの点字図書、録音図書、LL ブック、外国語図書等の充実、その他電子書籍の活用検討を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子ども向けの点字図書、録音図書、LL ブック、外国語図書等の充実（継続収集）</li> <li>◆所蔵する障がい者支援資料について目録を整備。ホームページの毎月更新</li> <li>◆マルチメディア DAISY 等の電子媒体書籍について積極的収集</li> </ul>
	23	すべての府立支援学校において、学校図書館を利用した授業展開の充実、大阪府学校人材バンクの活用、地域との連携等により、読書活動の一層の充実に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆点字図書館や中央図書館と連携した、マルチメディア DAISY やリーディング・トラッカー等の活用による、読みに障がいがある児童生徒の読書支援の実施</li> <li>◆読み聞かせボランティアを活用した読み聞かせの実施等の読書活動の充実</li> <li>◆ポイントカードを導入し、子どもが本を借りた際に、スタンプを押すなど、イベント企画による学校図書館の活性化を実施</li> </ul>
24	支援が必要な子どものためのおはなし会を開催します。特に、障がいのある子どもが本と親しむ機会を定期的に提供します。	<p>（障がいのある子どもに対する取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆手話を用いたおはなし会の実施</li> <li>◆手話を用いた絵本読み等を行う出張「こめっこ」の実施協力（対象：未就学児）</li> <li>◆音声図書やさわる絵本など、様々な資料を展示する「見て、聴いて、さわって楽しむ読書の世界」の実施</li> <li>◆支援学校での出前おはなし会の実施</li> </ul> <p>（日本語を母語としない子どもに対する取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆多言語のおはなし会「いろんな国の言葉のおはなし会」の実施</li> </ul>	
25	病院や児童養護施設等を対象とした団体貸出しや読書活動ボランティアによるおはなし会の支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特別貸出用図書セットの充実</li> <li>◆すべての府内矯正施設への特別貸出用図書セット貸出の実施</li> </ul>	
読 む 力 ・ 考 え る 力 の 育 成	26	高校の調べ学習に資する協力貸出しが促進されるよう高校への広報に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆府内国公私立すべての高校に、大阪府立中央図書館学校支援サービスについての案内の送付</li> <li>◆学校図書館関係団体との連携による現場の教諭等への学校支援サービスの直接紹介</li> </ul>
	27	教育センターにおける教員向け研修において、学校図書館や公立図書館を活用した授業展開等に関する研修を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小学校読書活動推進研修の実施</li> <li>◆読書活動支援の出前講座の実施</li> </ul>
	28	読書活動フォーラムにおいて、学校図書館を利用した先進的な取組み事例等を情報提供します。	◆子ども読書活動推進フォーラムの開催

府が主体となって進める 41 の取組み		令和元年度（平成 31 年度）の具体的な取組み内容	
体制づくり	29	<p>広く府民に、子どもが小さい頃から読書に親しむことの重要性について啓発を行います。また、月に一度読書を楽しむ日として「PAGE ONE の日」を設定し、家庭で本を読む、図書館や書店に親しむことを市町村や民間企業・団体等と連携して府民への普及啓発に努めるとともに、府立図書館においてもイベントを実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆おはなし会等の開催</li> <li>◆府立図書館内での広報を実施</li> <li>◆大阪府 H P で地域の図書館や書店のイベント等を紹介</li> <li>◆オーサービジット事業の募集と OSAKA PAGE ONE の啓発を兼用したポスターの作成、及び小学校・幼稚園・保育所、府内図書館、府内書店での掲示</li> <li>◆街頭紙芝居実演イベントの実施</li> <li>◆本の POP 広場の表彰状贈呈式の実施</li> <li>◆第一土曜日に書庫見学ツアーの実施</li> </ul>
	30	書店や PTA、子ども会等の民間団体と連携するなど多様な機会と手段を活用した、読書の魅力と重要性に関する啓発を展開します。	◆オーサービジット事業の募集と OSAKA PAGE ONE の啓発を兼用したポスターの府内書店での掲示
	31	親子で読書を楽しむことの重要性を学ぶための教材を作成し、府が進めている親学習を通じて読書活動の大切さの保護者への普及に努めます。	◆読書に係る親学習教材の配布・案内
	32	「子ども読書の日」や「子どもの読書週間」にあわせ、府立図書館で子ども向けのイベントを開催します。また、府内の市町村立図書館の取組みに関する情報を収集・整理し、ウェブサイトで提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子供向けのイベントの開催</li> <li>◆府内の市町村立図書館の取組みに関する情報の提供</li> </ul>
	33	公立図書館司書、学校司書、司書教諭を対象とした研修を実施します。	◆大阪府図書館司書セミナーを年数回実施する。このうち 1 回は必ず「児童サービス」等、子ども読書関係の研修を実施
	34	市町村立図書館における乳幼児向けサービスが向上するよう、図書館職員等への研修を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公立図書館と学校との合同研修を実施</li> <li>◆子ども読書活動推進支援員養成講座を実施</li> <li>◆ビプリオバトル出前講座を実施</li> <li>◆読書活動推進及び学校図書館活用出前講座の実施</li> <li>◆大阪府立図書館「出前講習」の実施</li> <li>◆研修会 デイジー図書を活用しよう！を実施</li> <li>◆府立中央図書館「協力貸出ポータルサイト」内に「研修のページ」を新設</li> </ul>
	35	小学校及び中学校における学校司書や司書教諭を中心とした学校図書館の活性化が進むよう、市町村に対して働きかけるとともに、学校図書館を活用した好事例等の情報を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市町村教育委員会学校図書館担当指導主事会の実施</li> <li>◆市町村子ども読書活動推進担当者会議の実施</li> </ul>
	36	府立学校において、司書教諭等を中心に、全ての教職員による学校図書館の運営体制を確立します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「府立学校に対する指示事項」による指示に基づき、府立学校においては、司書教諭を中心に、全ての教職員による学校図書館の運営体制を確立</li> <li>◆府立学校図書システムを活用した蔵書管理、生徒への貸出業務などの実施</li> </ul>
	37	中学校・高等学校の教職員向けに、中高生が魅力的な本と出会うための先進的・効果的な取組事例の紹介や手法について情報提供します。	◆子ども読書活動推進フォーラムの実施
	38	読書活動ボランティア養成講座を実施します。	◆子どもの読書活動推進支援員養成講座の実施
	39	市町村に対し、子ども読書活動推進計画の策定や、子ども読書活動推進のための連絡会議の設置について働きかけます。	◆市町村個別調査・問合せによる働きかけの実施
	40	市町村に対し、学校支援地域本部等における子どもの読書活動に関する取組みの好事例を紹介するとともに、取組みの実施について働きかけます。	◆学校支援地域本部のホームページに、学校・家庭・地域が連携した読書活動の事例を紹介
	41	定期的に読み聞かせ等を行っている団体の活動等にかかる情報を収集・整理・分析し、提供します。（再掲）	◆読書活動ボランティアの府内の活動情報の更新及び府 H P での紹介の継続（再掲）

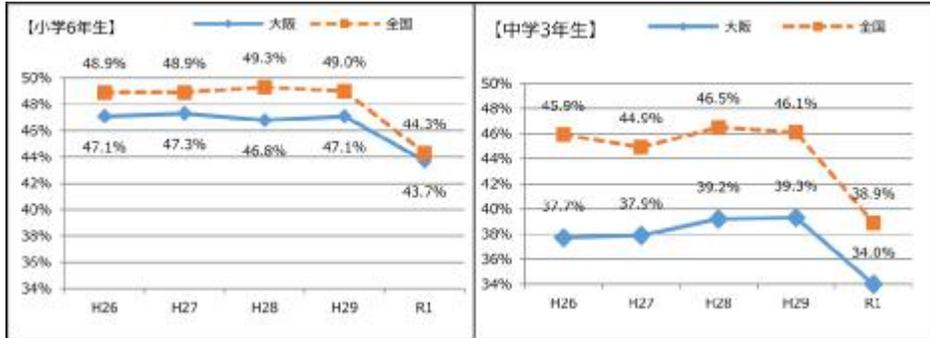
府が主体となって進める 41 の取組みについては、第 3 次計画期間において、すべての取組みを実施した。

## 7. 成果指標が達成できなかった要因

**成果指標** 「読書が好き」な子どもの割合を全国平均以上とする。(令和2年度)

**結果** 未達成(※推測) ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全国学力・学習状況調査が中止となったため

### 「読書が好き」な子どもの割合の大阪府平均と全国平均の推移(文部科学省「全国学力・学習状況調査」)



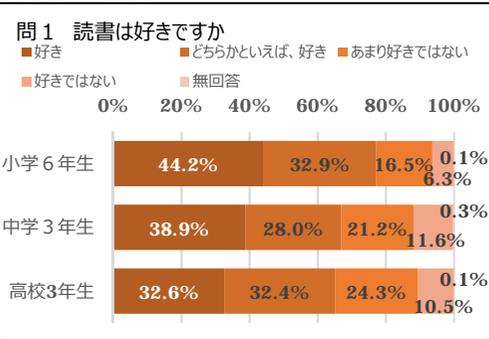
(H30は調査項目なし、R2は新型コロナウイルスにより調査中止)

#### (全国学力・学習状況調査から読み取れること)

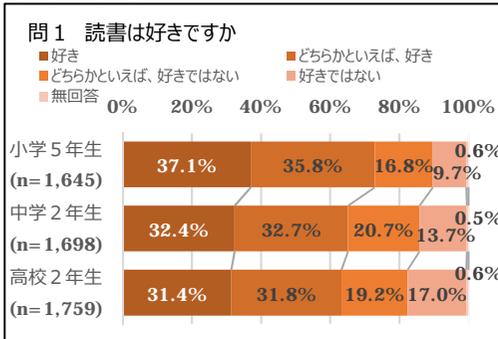
- ① 全国平均、大阪府平均ともに、小中学生どちらも「読書が好き」と回答する子どもの割合は減少傾向にある。
- ② 全国平均に比べ、大阪府平均は、小中学生どちらも「読書が好き」と回答する子どもの割合は低い。
- ③ 第3次計画期間(H28～R2)において、全国平均と大阪府平均の差は縮まっている。

### 大阪府教育庁「平成27年度子ども読書活動の意識調査」「令和元年度子ども読書活動に関する調査」

【平成27年度】



【令和元年度】

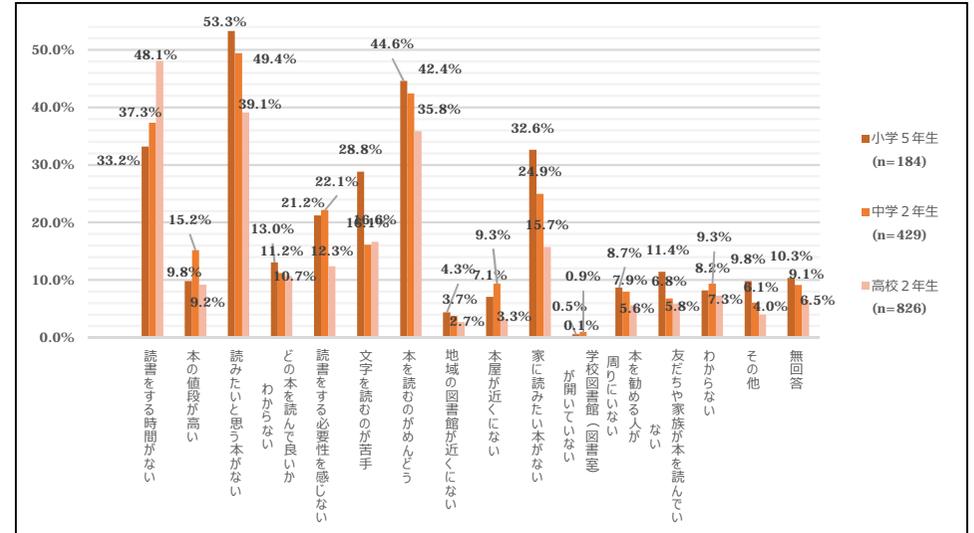


#### (大阪府読書調査から読み取れること)

- ④ 年齢が上がるにつれて、「読書が好き」と回答する子どもの割合が減少し、「読書が好きではない」と回答する子どもの割合が増加している。
- ⑤ どの年齢も5年前と比較し、「読書が好き」と回答する子どもの割合が減少し、「読書が好きではない」と回答する子どもの割合が増加している。

①～⑤の結果となった要因を、以下のとおり考察した。

図表① 読書をしない理由(複数回答可)(大阪府教育庁「令和元年度子ども読書活動に関する調査」)



図表② 図表①において、単数回答した子どもの割合

小学5年生	中学2年生	高校2年生
<b>27.7%</b>	<b>31.3%</b>	<b>42.7%</b>
(内訳) 10.2%が「読みたいと思う本がない」 3.0%が「読書をする時間がない」 1.2%が「本を読むのがめんどろ」	(内訳) 7.4%が「読みたいと思う本がない」 7.2%が「読書をする時間がない」 5.4%が「本を読むのがめんどろ」	(内訳) 17.1%が「読書をする時間がない」 8.6%が「読みたいと思う本がない」 4.0%が「本を読むのがめんどろ」

#### 図表①②から考察できること

- ・ どの年齢も読書をしない理由を複数回答している子どもの方が多いことから、複数の要因により多くの子どもが読書から遠ざかっていると考えられる。
- ・ すべての年齢で「読書をする時間がない」「読みたいと思う本がない」「本を読むのがめんどろ」と回答した割合が高い。
- ・ 特に高校生は「読書をする時間がない」ため、読書から遠ざかる傾向があると考えられる。

様々な要因により読書から遠ざかっていると考えられるが、特に割合の高かった「読書をする時間がない」「読みたいと思う本がない」「本を読むのがめんどろ」の要因について、考察した。

## 考察1 「読書をする時間がない」について

資料4 調査対象【児童・生徒】の③に記載しているように「読書をする時間がない」理由は、「部活動」「塾や勉強」「インターネット等」と回答する割合が高くなっている。

上記の理由のうち、「勉強」や「部活動」など、子どもが自由に時間の使い方を決めることができない活動がある一方で、計画期間中に大きく変化したこととして、資料5の④「情報通信手段の普及」で記載したとおり、5年前と比較して、子どものインターネットの利用時間が増加している。また、その利用内容は動画視聴、ゲーム、コミュニケーション（SNS）、音楽視聴などの割合は高く、電子書籍の割合は低い。

このことから、「読書好き」が減少傾向にある要因の1つとして、**読書以外（インターネットを利用した動画視聴、ゲーム、SNSなど）のことに時間を費やすことが増え、読書に時間を割かない子どもが増加している傾向があると思われる。**特に大阪府の子どもは、全国と比較し、インターネットの利用時間が長いなどの傾向にある。

（参考資料） 1日当たりの携帯電話やスマートフォンの利用時間が2時間以上の子どもの割合及び携帯電話やスマートフォンの所持率（文部科学省「平成29年度全国学力・学習状況調査」）※平成30年度以降の調査項目なし

	小学校		中学校	
	大阪府平均	全国平均	大阪府平均	全国平均
携帯電話等の利用時間が2時間以上の割合	15.3%	12.0%	39.6%	32.2%
携帯電話等の所持率	70.9%	63.3%	89.9%	83.9%

## 考察2 「読みたいと思う本がない」について

「読みたいと思う本がない」と回答した要因については、主に以下の3つが想定される。

- ① 本自体に興味・関心が向けられていない
- ② 身近な場所にある本が、読みたいと思う本ではない
- ③ 身近な場所に本がない

①については、もともと読書への興味・関心がない子どもや、必要性を感じていない子ども、考察1で示したとおり、**読書以外のことに興味・関心が向けられて、読書への興味・関心が薄れている子どもがいることが考えられる。**

②③については、学校図書館の開館割合が増加していることや、学校や教育保育施設と公立図書館の連携割合が増加していることなどから、5年前と比較すると読書環境の整備は進んでいると考えられるが、それらの環境で子どもが**興味を持てるような本がない**ということが考えられる。

## 考察3 「本を読むのがめんどろ」について

「本を読むのがめんどろ」と回答した子どもは、「本を読まない理由」を複数選択している割合が高く、特に「読みたいと思う本がない」「読書をする時間がない」「家に読みたい本がない」「読書をする必要性を感じない」「文字を読むのが苦手」を選択している割合が高い。

このうち、「文字を読むのが苦手」は、読む力が身につけていない子どもがいる可能性があり、国の有識者会議では「小学校中学年になると、最後まで本を読み通すことができる子どもとそうでない子どもの違いが現れ始める。」という指摘がされている。

## 8. 成果指標のまとめ

「読書が好き」な子どもの割合は、第3次計画期間（H28～R2）において、「府が主体となって進める41の取組み」をすべて実施したことにより、全国平均と大阪府平均の差が縮まっている。

一方で、「読書が好き」な子どもの割合は、計画期間の5年間で、減少傾向であり、その大きな要因として、以下3点が考えられる。

1点目は、子どもを取り巻く情勢の変化により、子どもがインターネットによる動画視聴やゲームなどで時間を費やすことが増え、**相対的に読書に時間を割かない子どもがいる。**

2点目は、**読書への興味・関心がもともとない子どもや、必要性を感じていない子ども、読書以外のことに興味・関心が向き、読書への興味・関心が薄れている子ども、興味を持てるような本がない子どもがいる。**

3点目は、**文字を読むことが苦手で、本を読まない子どもがいる。**

これらのことから、成果指標を達成できなかったと思われる。

9. 9つの取組みの指標が達成できなかった要因

目標値を達成することができなかった取組みの指標について、達成できなかった要因を分析する。

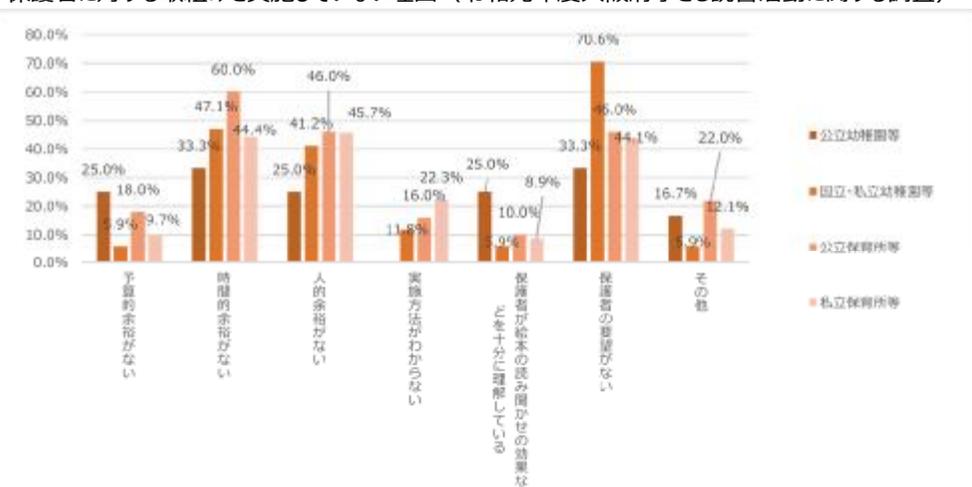
取組みの指標①

9つの取組みの指標		実施主体	H26	R1	目標値	達成状況
①	保護者に対して絵本の読み聞かせの講座、おすすめ絵本のリストの作成・配布などの取組みをしている教育・保育施設の割合	公立幼稚園等	95%	95%	100%	未達成
		公立保育所等	96%	84%	100%	未達成

各教育・保育施設において、さまざまな課題（場所的な余裕がない、時間的余裕がない、絵本がないなど）がある中で、目標値を達成することができなかった。公立保育所の実施割合が減少した要因は調査の結果、**保護者に時間的な余裕がなく、取組みを実施できなかった**という回答が多くあった。また、目標値の設定はしていないが、私立保育所等については、新設保育所が増加したことに伴い、**絵本がない、職員が取組み方法について把握していない**という回答があった。

(参考資料)

・保護者に対する取組みを実施していない理由（令和元年度大阪府子ども読書活動に関する調査）



		上記理由以外の取組みを行っていない理由
幼稚園等	公立	読書に特化した啓発は行っていない
	国立・私立	これまで、読書に関するイベント等を実施していなかった
保育所等	公立	保護者の時間的余裕がない、場所的余裕がない、保育所に本がない
	私立	新設保育所で職員が読み聞かせ等の技術を習得していない、場所的余裕がない、保育所に本がない、保護者の時間的余裕がない、読書ボランティアが辞められた

取組みの指標④

9つの取組みの指標		実施主体	H26	R1	目標値	達成状況
④	月に数回以上全校一斉の読書活動を実施している公立学校の割合	公立小学校	91%	89%	100%	未達成
		公立中学校	61%	68%	80%	未達成

一斉読書を実施していない理由は、各公立学校において、**学習指導要領の改訂や、子どもの状況に応じた様々な教育活動を実施することにより、時間的な余裕がない**という回答が多かった。

(参考資料)

・一斉読書を実施していない理由（令和元年度大阪府子ども読書活動に関する調査）

一斉読書を実施していない理由		
小学校	公立	集会や朝学習を実施している、一斉ではなく個別に時間を設けている、外国語活動の教科化に伴い朝学を実施している、モジュールを実施している
	国立・私立	授業時数確保
中学校	公立	朝学習を実施している、新聞を読む時間になっている、給食のスタートに伴い時間的に困難になった、モジュールを実施している
	国立・私立	時間的余裕がない、礼拝を実施している、生徒の自主性に任せている、朝学習を実施している、必要性を感じない
高等学校	公立	朝学習を実施している、単位制学校で機会がない、教職員・生徒からの要望がない、生徒への指導が負担となる、国語科の授業で取組みを実施している
	国立・私立	時間的余裕がない、必要性を感じない、朝学習を実施している、礼拝を実施している、一斉ではなく個別に課題に対応している、通信制
支援学校等	国立・公立	児童生徒の発達段階に差があり一斉が困難、一斉読書という形態が児童生徒の実態に即していない、時間的余裕がない、自ら読書をする事困難、ランニングや朝学習を実施している、それぞれの課題に応じた自立活動を実施している

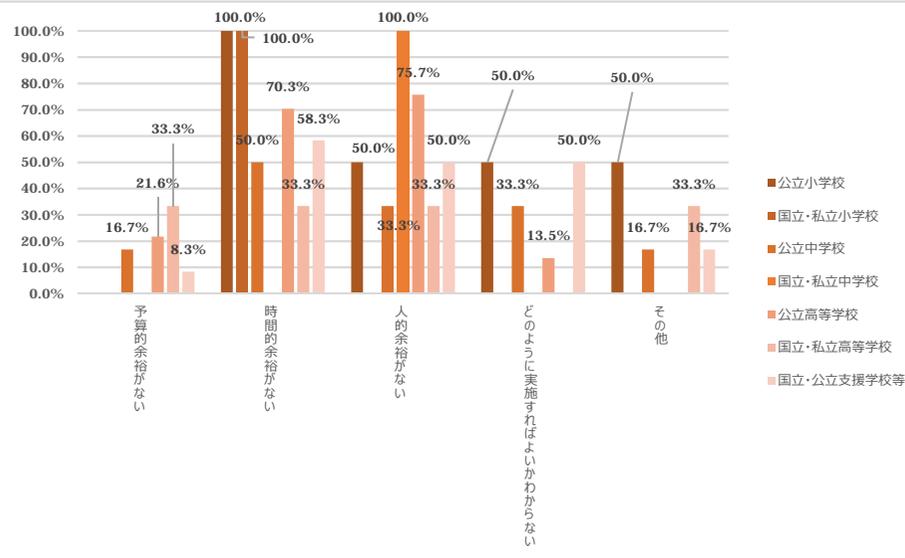
取組みの指標⑤

9つの取組みの指標		実施主体	H26	R1	目標値	達成状況
⑤	全校一斉の読書活動以外の取組み（ブックトーク・読み聞かせ等）を実施している公立学校の割合	公立小学校	97%	100%	100%	達成
		公立中学校	64%	97%	80%	達成
		公立高等学校	50%	57%	60%	未達成
		支援学校等	68%	76%	75%	達成

要因 未達成の公立高等学校では、**時間的な余裕がない、人的余裕がない**という回答割合が高かった。

(参考資料)

全校一斉の読書活動以外の取組みを実施していない理由（令和元年度大阪府子ども読書活動に関する調査）



取組みの指標⑥⑦

9つの取組みの指標		実施主体	H26	R1	目標値	達成状況
⑥	国語の授業で学校図書館を活用している公立学校の割合	公立小学校	99%	97%	100%	未達成
		公立中学校	82%	93%	100%	未達成
		公立高等学校	47%	60%	60%	達成
		支援学校等	59%	83%	75%	達成
⑦	総合的な学習の授業で学校図書館を活用している公立学校の割合	公立小学校	97%	96%	100%	未達成
		公立中学校	76%	87%	90%	未達成
		公立高等学校	28%	28%	35%	未達成
		支援学校等	49%	63%	75%	未達成

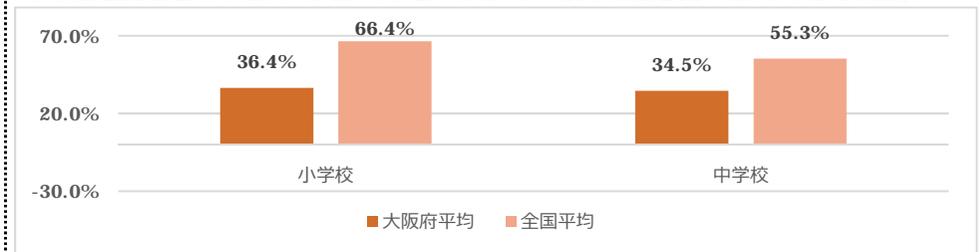
要因 多くの学校で、目標値を達成できておらず、**タブレット端末による調べ学習を行っている、学校図書館の蔵書数が少ない、学校図書館の蔵書のデータが古い**という回答が多かった。

(参考資料)

学校図書館を活用していない理由（令和元年度大阪府子ども読書活動に関する調査）

学校図書館を活用していない理由		
小学校	公立	PCを活用した方が効果的と考えている、教科ごとの資料集があり、それを活用している、図書が不足している、指導するための適切な図書がない、
	国立・私立	-
中学校	公立	各教科で活用する機会を設けることができなかった、図書館を活用する授業内容がない、PCによる調べ学習を実施している、授業の進捗状況で活用する余裕がなかった、図書館が教室から離れたところにある
	国立・私立	PCを活用している
高等学校	公立	蔵書が古い、本が少ない、図書館が狭い、インターネットを利用した調べ学習を実施している
	国立・私立	PCを活用している
支援学校等	国立・公立	PC等を活用して調べ学習を実施している、図書館が狭い、蔵書が充実していない、図書コーナーは設置しているが、図書館がない

学校図書館図書標準割合（文部科学省「平成28年度学校図書館の現状に関する調査」）



### 取組みの指標⑧

9つの取組みの指標		実施主体	H26	R1	目標値	達成状況
⑧	府内市町村子ども読書活動推進計画の策定率（期限切れを含まない）	市	64%	82%	100%	未達成
		町村	20%	40%	70%	未達成

**要因** 平成30年度に実施した未策定の市町村へのヒアリングの結果、**人的余裕がない**と回答があった。また、令和元年度「子供読書活動推進計画」策定状況調査実施時に、期限切れの市町村から、**大阪府の第4次計画の内容を参考として、計画の改定をする**という回答があった。

### 10. 9つの取組みの指標のまとめ

府が主体となって進める41の取組みを実施することで、**9つの取組みの指標の多くは改善傾向**にある。

しかし、「令和元年度子ども読書活動に関する調査」の結果や各生活の場へのヒアリング等で明らかとなった**子どもを取り巻く情勢の変化**やそれに伴う**各生活の場ごとの課題**から6つの取組みの指標を達成することができなかった。

9つの取組みの指標が達成できなかった要因等

#### (子どもを取り巻く情勢の変化)

- ・新設保育所等の増加
- ・学習指導要領の改訂

#### (各生活の場ごとの課題)

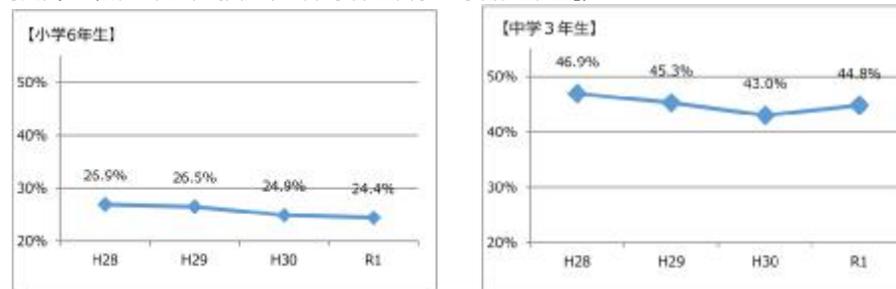
家庭	教育保育施設
・時間的余裕がない保護者がいる。	・絵本が少ない教育保育施設がある。 ・取組み方法がわからない教育保育施設がある。
学校	図書館
・時間的余裕がない学校がある。 ・人的余裕がない学校がある。 ・学校図書館の本が少ない（古い）学校がある。	・場所的余裕がない公立図書館がある。 ・中高生が興味・関心をひく取組み方法がわからない公立図書館がある。
	市町村
	・人的余裕がない市町村がある。

### 11. 第3次計画の成果と課題

**成果** 「府が主体となって進める41の取組み」を計画期間中、毎年実施した。その結果、多くの取組みの指標が改善し、成果指標である「読書が好き」と回答する子どもは全国平均に及ばなかったものの、差を縮めることができた。

また、成果指標ではないが、第3次計画策定時に課題と捉えていた「不読率（全く本を読まない子どもの割合）」についても、計画期間で少しずつ改善傾向にある。

(参考資料) 大阪府の不読率の推移 (文部科学省「全国学力・学習状況調査」)



**課題** 「8. 成果指標のまとめ」で示したとおり、子どもを取り巻く情勢の変化や発達段階の特徴から、

#### (子ども読書活動の課題)

- ① 読書以外（インターネットを利用した動画視聴、ゲーム、SNS など）に興味・関心が向けられ、読書に時間を割かない子どもがいる。
- ② 読書への興味・関心がもともとない子どもや、必要性を感じていない子ども、読書以外のことに興味・関心が向き、読書への興味・関心が薄れている子ども、興味を持てるような本がない子どもがいる。
- ③ 文字を読むのが苦手で、本を読まない子どもがいる。  
があり、子どもが読書から遠ざかる要因となっていることが考えられる。

9つの取組みの指標で、目標値を達成できなかった要因等から見える課題として、

#### (各生活の場ごとの課題)

- ① 「保護者に時間的な余裕がない」「取組み方法がわからない」「絵本不足」等の理由から、保護者への読書活動が実施できていない教育保育施設がある。
- ② 「人的な余裕がない」ことや、学習指導要領の改訂等により「時間的余裕がない」ことから、読書活動を行うことが困難な学校がある。
- ③ 「本が少ない」「本が古い」ことから、学校図書館を活用できていない学校がある。
- ④ 「場所的余裕がない」「中高生が興味・関心をひく取組み方法がわからない」ことから、中高生向けの取組が実施できていない公立図書館がある。
- ⑤ 「人的余裕がない」ことから、読書計画が未策定等の市町村がある。  
があり、子どもの生活の場において、読書のできる環境整備ができていない場合があることが考えられる。

以上の第3次計画の成果と課題を踏まえ、第4次計画を定めることとする。